

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 12 日

評価対象事業		評価者	教育総務課担当課長 小澤 圭介		
教育-11	実施事業	生涯学習センター推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	教育総務課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	多様な学習機会の提供と学習成果の活用	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進めるため。
効果	「いつでも」「どこでも」「だれもが」気軽に学習できる環境の整備・充実を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

市民団体である鎌倉市生涯学習推進委員会に委託して、各種講座・イベントの開催や生涯学習情報誌「鎌倉萌」の発行、生涯学習教養セミナー等の生涯学習事業を実施した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数	472,875人	事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	14,335	当初予算(千円)	10,318	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	14,335	一般財源	10,318	
	人員配置数	1.3	人員配置数	0.7	
事業経費運営	総事業費(千円)	24,533	総事業費(千円)	21,498	
	市民1人当りの経費(円)	139	市民1人当りの経費(円)	122	
	対象者1人当りの経費(円)	52	対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市生涯学習推進委員会
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a:事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b:事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c:事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d:他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他	見直しの内容 継続的な事業実施のための担い手等の検討 事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A:予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B:予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C:予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	市民の学習活動が円滑に行われるよう、事業を見直して、引続き各種講座等の開催や情報提供を行っていく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	各種講座・イベント等の企画運営や生涯学習情報誌「鎌倉萌」の発行について、委託により市民協働で実施している。また、生涯学習センターフェスティバルの開催や大学等との連携により公開講座を実施し、生涯学習の推進に努めている。		

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉市生涯学習推進委員会への委託事業については、推進委員会の実状を踏まえて検討を進めていく。 市民団体や関係機関との連携を図り、学習機会や場の提供をより充実させていく必要がある。 	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進事業の委託内容については、講座受講者にアンケート調査を行い、講座・イベントの開催内容にその意向を反映し充実を図った。 市民への周知活動としては、市内で開催される各種講座・イベントの情報及び生涯学習指導者情報を掲載した「生涯学習ガイドブック」及び情報誌「鎌倉萌」を発行・配布した。 生涯学習指導者による教養セミナー、鎌倉女子大への委託による公開講座を開催した。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉市生涯学習推進委員会への委託事業については、推進委員会の実状を踏まえて検討を進めていく。 市民団体や関係機関との連携を図り、色々な年代の市民に対し学習機会や場の提供をより充実させていく必要がある。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	学習センター利用者数						単位	千人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				耐震改修工事による施設の一部使用休止のため、目標値を変更した。
生涯学習の振興状況を計るため	目標値	580.0	585.0	590.0	595.0	600.0	285.0				
	実績値	627.0	560.0	535.0	538.0	473.0	258.0				
	達成率	108.1%	95.7%	90.7%	90.4%	78.8%	90.5%				
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											